

2020年(令和2年)10月8日(木)



地下水対策検討委員会であいさつする委員長の辻村真貴・筑波大教授＝三島市一番町の三島市民文化会館で

高層ビル予定地 地下調査を要請

三島駅再開発・検討委

三島駅南口再開発の地下水への影響を検討する「三島駅南口周辺開発地下水対策検討委員会」(委員長、辻村真貴・筑波大教授)の3回目の会合が7日、三島市民文化会館で開かれた。南口東街区の高層ビル建設予定地に地下ボーリング地点がない問題について、市は「再開発準備組合にボーリング調査をするように求める」と答えた。市が再開発を推進す

る東街区の約1・3杉は数カ所に地下ボーリング地点があるが、高さが90・5層の高層ビル建設予定地直下になく、正確な地下水調査ができていなかった。地下に三島溶岩と呼ばれる溶岩層があるが、場所によって溶岩の厚さが異なり、地下水の流れも複雑だ。

一方、既に富士山三島東急ホテルが完成、開業した南口西街区について、検討委は「建設工事による地下水位、地下水質の変化が確認されなかった」と結論つけた。ホテルの南北西側で東急が行っている地下水の観測は、今後、市が引き続き、結果を検討委に報告する。**【石川宏】**